

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

使用上の注意改訂のお知らせ

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

2025年3月

抗酸菌症治療薬

リファンピシンカプセル150mg「サンド」

日本薬局方 リファンピシンカプセル

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容（下線部_____：変更箇所）】

改 訂 後	改 訂 前
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 変更なし</p> <p>2.2 ルラシドン塩酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブロート、チカグレロル、ロルラチニブ、ボリコナゾール、イサブコナゾニウム硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、リルピビリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフル酸塩・エムトリシタбин、ドルテグラビルナトリウム・リルピビリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタбин・テノホビル アラフェナミドフル酸塩、ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタбин・テノホビル アラフェナミドフル酸塩、ドラビリン、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム、レナカパビルナトリウム、ソホスブビル、レジパスビルアセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルバタスピル、グレカブレビル水和物・ピブレンタスピル、テノホビル アラフェナミドフル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタбин・テノホビル アラフェナミドフル酸塩、アメナメビル、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、アルテメタル・ルメファントリン又はプラジカンテルを投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3 変更なし</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 ルラシドン塩酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブロート、チカグレロル、ロルラチニブ、ボリコナゾール、イサブコナゾニウム硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、リルピビリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフル酸塩・エムトリシタбин、ドルテグラビルナトリウム・リルピビリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタбин・テノホビル アラフェナミドフル酸塩、ドラビリン、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム、レナカパビルナトリウム、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルバタスピル、グレカブレビル水和物・ピブレンタスピル、テノホビル アラフェナミドフル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタбин・テノホビル アラフェナミドフル酸塩、アメナメビル、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、アルテメタル・ルメファントリン又はプラジカンテルを投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略</p>

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 変更なし			10. 相互作用 省略		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
抗ウイルス剤 HIV 感染症治療薬 エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフル酸塩 ゲンボイヤ [2.2 参照]	エルビテグラビル、コビシスタット及びテノホビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4等)誘導作用により、エルビテグラビル及びコビシスタットの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。また、本剤のP糖蛋白誘導作用によるものと考えられている。	抗ウイルス剤 HIV 感染症治療薬 エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフル酸塩 ゲンボイヤ [2.2 参照]	エルビテグラビル、コビシスタット及びテノホビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4等)誘導作用により、エルビテグラビル及びコビシスタットの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。また、本剤のP糖蛋白誘導作用によるものと考えられている。
抗ウイルス剤 HIV 感染症治療薬 ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフル酸塩 シムツーザ [2.2 参照]	ダルナビル、コビシスタット及びテノホビル アラフェナミドの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A誘導作用により、ダルナビル、コビシスタット及びテノホビル アラフェナミドの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。また、本剤のP糖蛋白誘導作用によるものと考えられている。	抗ウイルス剤 HIV 感染症治療薬 ダラビリン ピフェルトロ [2.2 参照]	ドラビリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
変更なし			新設		
			抗ウイルス剤 HIV 感染症治療薬 ドラビリン ピフェルトロ [2.2 参照]	ドラビリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
			省略		

【改訂理由】

相互作用相手薬記載との整合の観点から、「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項を改訂しました。

改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報(DSU) No.334」に掲載されます。

改訂電子添文につきましては医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 及び弊社ホームページ「医療関係者向け情報」(<https://www.sandoz.jp/products>) に掲載されます。

なお、以下のGS1バーコードを「添文ナビ」で読み取ることでも、本製品の最新の電子化された添付文書等をご覧いただけます。

リファンピシンカプセル 150mg 「サンド」



(01)14987614235048

【資料請求先】

サンド株式会社 カスタマーケアグループ

TEL 0120-982-001 FAX 03-6257-3633

受付時間 9:00~17:00 (土・日、祝日及び当社休日を除く)